



夏期巡回ラジオ体操・みんなの体操が勤労者体育センターから生放送  
(8月6日 午前6時30分から)

主な内容

- 夏期巡回みんなのラジオ体操  
加茂市から生放送実施 …… ②③
- 第33回越後加茂川夏祭り …… ④⑥
- 水道水の水質検査結果 …… ⑦
- 加茂の風土記  
「八十里越と加茂町などの通行者」 …… ⑧

百年に一度の唯一の好機！

新加茂病院に産科の個室20室を確保しました！ 妊婦の方々は、皆個室を希望しています。

新加茂病院の隣りに病児保育園を確保しました！ お金は加茂市と田上町が負担！

この二つこそ絶対必要な少子化対策！

産科の個室が1つでは、医師も妊婦もやって来ず、産科は実現しません。



雨にもかかわらず、勤労者体育センターには1200人が集まりました

八月六日曜日の早朝、加茂市からラジオ体操の生放送が行われました。

毎朝六時三十分からNHKラジオ第一で放送されるラジオ体操は、夏休み期間に全国各地を巡回し、生放送されます。加茂市での開催は初めてで、会場に陸上競技場を予定していましたが、早朝から雨の予報となったため、勤労者体育センターを会場としました。また、大勢の市民から参加していただけるよう、市内七カ所に臨時駐車場を設け、会場までのシャトルバス



を運行しました。

午前六時の開会式前から空は厚い雨雲に覆われ、大粒の雨が降り出す中、会場には千二百人を超える人たちからおいでいただきました。

この日、体操を指導したのは岡本美佳さんとピアノ伴奏の能条貴大さんで、本放送の前に拍手やラジオ体操の歌の練習をして、生放送に備えました。

六時三十分ラジオ体操のテーマ曲が流れ、会場の全員が元気よく「ラジオ体操の歌」を歌って、放送が始まりました。ラジオで加





ピアノ伴奏の能條貴さんと体操指導の岡本美佳さん



雷により競技場が消灯



茂市が紹介され、「ラジオ体操第一」が始まった直後、落雷により競技場の照明が消えてしまいました。会場内ではそのままラジオ体操が続けられ、生放送を終えることができませんでした。放送終了後には、競技場の照明も点灯し、岡本美佳さんからラジオ体操のワンポイントレッスンが行われ、七時二十分ころに「夏期巡回ラジオ体操・みんなの体操会」は終了しました。



生放送中には雷を伴う雨が降りました



市内7カ所の臨時駐車場からシャトルバスを運行

# 第33回 越後加茂川夏祭り



ウキウキ桃釣り大会

夏の加茂を彩る越後加茂川夏祭りは、今年も八月十四日に開催されました。真夏日が続く季節ですが、時折、加茂川に沿って風が吹き、夜の大花火大会まで楽しい一日となりました。

前日に降った雨のおかげで、加茂川の水もきれいで、浅瀬で遊ぶ子どもたちが大勢いました。午後一時から、右岸の「ウキウキ桃釣り大会」と左岸で「ウンボキヤッチャー」は、始まる前から大勢の子供たちが並んで順番を待っていました。



縁日広場のスーパーボールすくいも人気

ました。参加した子どもたちからは「桃釣りで竿を流れに合わせるのがむずかしい」と感想が聞かれました。左岸の新しい広場は、十三軒が二か所に並び、かき氷や冷たい飲み物を求める人たちでにぎわいました。午後二時三十分からの「かつごう加茂川」は、御神輿の出発式に二十団体百人が集まり、お祭りを盛り上げていました。桃釣り大会とウンボキヤッチャーが終わると、子どもたちは「縁日広場」に集まり、スーパーボールすくいやストラックアウトで楽しめます。



越後加茂川夏祭り実行委員会  
会長の小池清彦加茂市長



越後加茂川夏祭り実行委員会委員  
長の太田明商工会議所会頭



ミス雪椿の齋藤さん、亀山さん、  
駒村さんも大盆踊り大会に参加



大人気のウンボキャッチャー

午後四時からは加茂川コンサー  
トが右岸ステージで始まりまし  
た。今年「Tao〜道〜」と「ケミ  
カル11リアクション」のアイドル  
グループ二組が出演し、会場全体  
に歌とリズムが流れ、加茂川を囲  
んで観客の皆さんが盛り上がりま  
した。次に市内外から集まったよ  
さこいチームが、掛け声とともに  
よさこいソーランの演舞を披露し  
ました。夕暮れになると市内の保  
育園児・幼稚園児が作った三百個  
の灯ろうが流れ、夜の行事が始ま  
りました。

モニターで、越後加茂川夏祭り実行  
委員長の太田明加茂商工会議所会  
頭が「おいでいただいた皆様には  
感謝申し上げます。今日は心ゆく  
まで楽しんでください。」とあい  
さつされました。続いて、越後加  
茂川夏祭り実行委員会会長の小池  
清彦加茂市長が「市民の皆様のお  
協力に感謝いたします。大盆踊り  
大会、大花火大会で、楽しいひと  
ときをお過ごしください。」とい  
いさつしました。



アイドルグループ「Tao〜道〜」



おいしんぼ広場



「ケミカルリアクション」



大迫力の二尺玉三連発



加茂川を囲む大盆踊り大会の輪

山千穂さん、ミス雪椿の駒村優佳さん、斎藤晴香さんと十団体約四百人の踊りの輪から始まった加茂松坂は、飛び入り参加の人も加わり、加茂川を囲む大きな踊りの輪ができました。

午後八時三十分からの大花火大会は、栄橋と諏訪橋間の噴水花火で始まり、若宮公園から打ち上げられる大スターメインや二尺玉三連発、そして加茂川を二キロメー



お祭りを盛り上げる「かつごう加茂川」の御神輿

トルにわたって飾る大ナイアガラ花火を続き、目の前に流れ落ちる花火の滝に歓声が一段と大きく広がりました。

晴天に恵まれた一日で、会場を後にする人たちからは来年の越後加茂川夏祭りを楽しみにする声が聞かれました。



大勢から参加していただいた大盆踊り大会



よさこいソーランを披露する皆さん



川面を彩る300個の灯ろう

# 厳しい検査 安全な水

## 水道水の 水質検査結果

皆さんが何気なく使っている「水」。実はとても厳しい検査を通じて、蛇口から流れてくるのです。

市内の水道水は、宮寄上と三条広域水道（三条地域水道用水供給企業団）で作られて配水されており、毎日欠かさずに厳しく、細やかな水質検査が行われています。これは水道水が皆さんの健康に直接影響するもので、その水質には一瞬の油断もできないからです。

このほかにも水道局では、定期的に水道水の水質を専門機関で検査しており、その検査の結果は、毎年広報でもお知らせしてきました。今回の検査結果は、下表のとおりで、いずれの項目も基準値を十分に満たしています。

水道水の水質については、水道局工務係（☎52-0080内線241）へお問い合わせください。

### 水道法第4条に基づく水質基準項目

区分	番号	基準項目	基準値	単位	平成30年8月1日 給水栓採水結果	
					宮寄上系(桜沢系・桜沢)	企業団系(都ヶ丘系・千刈)
健康に関する項目		気温		℃	33.0	33.0
		水温		℃	26.5	25.0
		残留塩素	0.1 mg/l 以上		0.38	0.36
	01	一般細菌	100 個/ml 以下		0	0
	02	大腸菌	検出されないこと		不検出	不検出
	03	カドミウム及びその化合物	0.003 mg/l 以下		0.0003 未満	0.0003 未満
	04	水銀及びその化合物	0.0005 mg/l 以下		0.00005 未満	0.00005 未満
	05	セレン及びその化合物	0.01 mg/l 以下		0.001 未満	0.001 未満
	06	鉛及びその化合物	0.01 mg/l 以下		0.001 未満	0.001 未満
	07	ひ素及びその化合物	0.01 mg/l 以下		0.001 未満	0.001 未満
	08	六価クロム化合物	0.05 mg/l 以下		0.005 未満	0.005 未満
	09	亜硝酸態窒素	0.04 mg/l 以下		0.004 未満	0.004 未満
	10	シアン化物イオン及び塩化シアン	0.01 mg/l 以下		0.001 未満	0.001 未満
	11	硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素	10 mg/l 以下		0.37	0.05 未満
	12	フッ素及びその化合物	0.8 mg/l 以下		0.08 未満	0.08 未満
	13	ホウ素及びその化合物	1 mg/l 以下		0.1 未満	0.1 未満
	14	四塩化炭素	0.002 mg/l 以下		0.0002 未満	0.0002 未満
	15	1,4-ジオキサシス-1,2-ジクロロエチレン及びトランス-1,2-ジクロロエチレン	0.05 mg/l 以下		0.005 未満	0.005 未満
	16	ジクロロメタン	0.04 mg/l 以下		0.001 未満	0.001 未満
	17	トリクロロメタン	0.02 mg/l 以下		0.001 未満	0.001 未満
	18	テトラクロロエチレン	0.01 mg/l 以下		0.001 未満	0.001 未満
	19	トリクロロエチレン	0.01 mg/l 以下		0.001 未満	0.001 未満
	20	ベンゼン	0.01 mg/l 以下		0.001 未満	0.001 未満
	21	塩素酸	0.6 mg/l 以下		0.06	0.06 未満
	22	クロロ酢酸	0.02 mg/l 以下		0.002 未満	0.002 未満
	23	クロロホルム	0.06 mg/l 以下		0.002	0.008
	24	ジクロロ酢酸	0.03 mg/l 以下		0.003 未満	0.003 未満
	25	ジブromクロロメタン	0.1 mg/l 以下		0.003	0.004
	26	臭素酸	0.01 mg/l 以下		0.001 未満	0.001 未満
	27	総トリハロメタン	0.1 mg/l 以下		0.008	0.019
	28	トリクロロ酢酸	0.03 mg/l 以下		0.003 未満	0.003 未満
	29	ブromジクロロメタン	0.03 mg/l 以下		0.003	0.007
	30	ブromホルム	0.09 mg/l 以下		0.001 未満	0.001 未満
	31	ホルムアルデヒド	0.08 mg/l 以下		0.008 未満	0.008 未満
	32	亜鉛及びその化合物	1 mg/l 以下		0.001	0.002
	33	アルミニウム及びその化合物	0.2 mg/l 以下		0.01 未満	0.03
	34	鉄及びその化合物	0.3 mg/l 以下		0.03 未満	0.03 未満
	35	銅及びその化合物	1 mg/l 以下		0.01 未満	0.01 未満
	36	ナトリウム及びその化合物	200 mg/l 以下		5.2	9.6
	37	マンガン及びその化合物	0.05 mg/l 以下		0.001 未満	0.001 未満
	38	塩化物イオン	200 mg/l 以下		5.5	6.8
	39	カルシウム、マグネシウム等(硬度)	300 mg/l 以下		17	21
	40	蒸留物	500 mg/l 以下		41	60
	41	陰イオン界面活性剤	0.2 mg/l 以下		0.02 未満	0.02 未満
	42	ジエオスミン	0.00001 mg/l 以下		0.000001 未満	0.000001 未満
	43	2-メチルイソボルネオール	0.00001 mg/l 以下		0.000001 未満	0.000001 未満
	44	非イオン界面活性剤	0.02 mg/l 以下		0.002 未満	0.002 未満
	45	フェノール類	0.005 mg/l 以下		0.0005 未満	0.0005 未満
	46	有機物質(TOC)	3 mg/l 以下		0.4	0.7
	47	pH	5.8-8.6		7.1	7.6
	48	味	異常でないこと		異常なし	異常なし
49	臭気	異常でないこと		異常なし	異常なし	
50	色度	5度以下		0.5度未満	0.5度未満	
51	濁度	2度以下		0.1度未満	0.1度未満	

# 八十里越と加茂町などの通行者

下田（三条市）吉ヶ平から会津叶津に抜ける峠に八十里越の峠がある。江戸時代はじめから越後と会津を結ぶ大切な街道で、風雨による改修も度々であった。

入広瀬浅井家に残る八十里越の改修についての企画書（規定書）は、天保十年（一八三九）六月七日付で、村松町源三郎が金主元となり、地元村松藩領村々、南山預所入広瀬村の村々が普請金を負担して工事を始めるものであった。

この企画者に大白川新田の庄屋や村松町の金主元がいたほかに下条村（目黒）甚之助・定九郎・三九郎ら四人がいた。甚之助らは八十里越で荷物を運ぶ何らかの稼業を

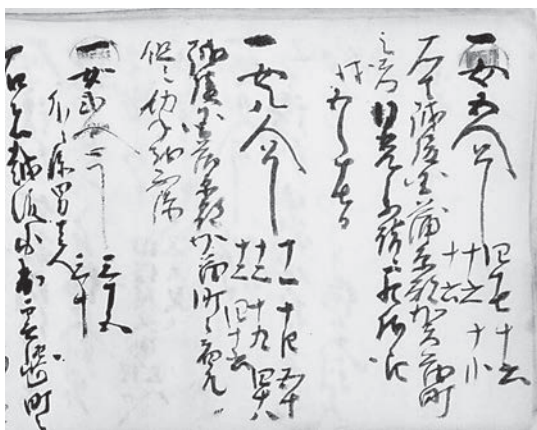
## 加茂の風土記

していた者とみられる。

工事は会津の田島代官平岡文治郎らが進め、天保十四年に牛馬が通れるように一応の完成をみた。

工事から十一年後、嘉永元年（一

八四八）からの大勢の通行記録が残る（「往来日記」）。嘉永元年（安政二年（一八四八〜五五）までの間に二二九グループ、七七〇人の通行がみえる。さまざまな通行があり、なかに女性の単独あるいは複数人での日光参詣が目立っている。安政元年（一八五四）九月三日の上条村の一六人の通行が一番多い通行である。これには、十



嘉永三年（一八五〇）八十里越を越えた加茂町の五人・八人のグループ

歳代が五人、十五歳代が五人、二十歳代が三人、三十歳代が一人、四、五十歳代が二人の一六人で添え男（手荷物持ち）はいなく女たちだけの日光参詣の旅であった。  
女性グループにはほとんどが添え男を一人もしくは二人を連れて手荷物などを持たせている。通行記録のうち加茂町及び上条村・天神林村など村々からは、合わせて一二七人が八十里越叶津番所を通行していた。

峠を越えた人たちはしかし、記録のほとんどの旅は日光参詣の記録であった。これだけ女性たちの通行があり、峠をこえていることは、文面通り当時女性たちの間で日光参詣が当時の流行であり、いわば人生の通過儀礼としてあったのでこれほど蒲原郡の村々から旅立たせたものだろう。

この後、大雨などの被害により通行が覚束なくなると八十里越の改修は、明治十四年（一八八一）・同二十二年（二十七年）に行われるが、加茂からは加茂編などが会津田島地方に移出され、加茂編が野良着に使われた。

（関 正平）

### 人口のうごき

7月1日現在  
世帯 10,269 (-7)  
人口 27,377 (-31)  
男 13,313 (-11)  
女 14,064 (-20)  
( )内は前月比  
(7月異動分)  
出生 11 (男5女6)  
死亡 33 (男12女21)  
転出 35 転入 26